

# TEシリーズ 取付マニュアル

ユニット名  
**MB-B+HG1**

TEシリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

## 危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。  
適合車種は、店頭の車種別ハーネス適合表でご確認ください。

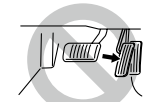
マニュアル車へ取り付けすることは、絶対にしていただきません。  
マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。

●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

●エンジン始動時に下記のような場合には、取り付けできません。



●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。

●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

2秒

年間を通じて、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車

●注意  
本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご相談ください。

●注意  
配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

●注意  
本製品をしまい込む際は、次の点に充分注意してください。  
・チャルトステアリングやコラムシフトを可動した時に、ハーネスの噛み込みが起これないこと。  
・ブレーキペダルやアクセルペダルの操作に本製品が干渉しないこと。

●注意  
あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

●注意  
OBD IIコネクタから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。誤作動の原因となります。

●参考  
本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチ2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

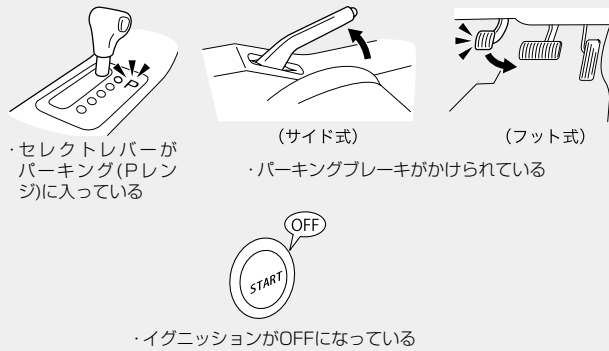
## 付属品一覧

- ・リモコン 1個
- ・本体（メインユニット） 1個
- ・ワンタッチコネクタ 1個
- ・危険シール 1枚
- ・結束バンド（大） 1本
- ・結束バンド（小） 5本
- ・イモビ付車対応アダプター(HG1) 1個
- ・専用ハーネス（TE108相当品） 1セット
- ・イモビライザー接続コード 1セット
- ・メインユニット接続コード 1セット
- ・両面テープ（35×30mm） 1枚
- ・サイドブレーキ検出コード1本
- ・L端子検出コード1本

## 配線のしかた（ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください）

各ハーネスの配線場所は、車種によって異なります。詳しい配線場所については弊社ホームページから車種別配線情報（ピットマニュアル）をご確認ください。

### 1 車両が次の状態になっていることを確認します。



### 2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおまかな取り付け位置を決めます。

●参考 まだ固定しないでください。

- メモ 場所決めのポイント
- ・しっかり固定できますか？
- ・専用ハーネスの長さは足りませんか？（ハーネスが本体に届かないときは、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。）
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上、離れていますか？

### 3 車両のヒューズボックスのコネクタを抜き、専用ハーネスをしっかり接続します。

●注意 必ず正しいコネクタに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

### 4 専用ハーネスの各配線を車両へ配線します。

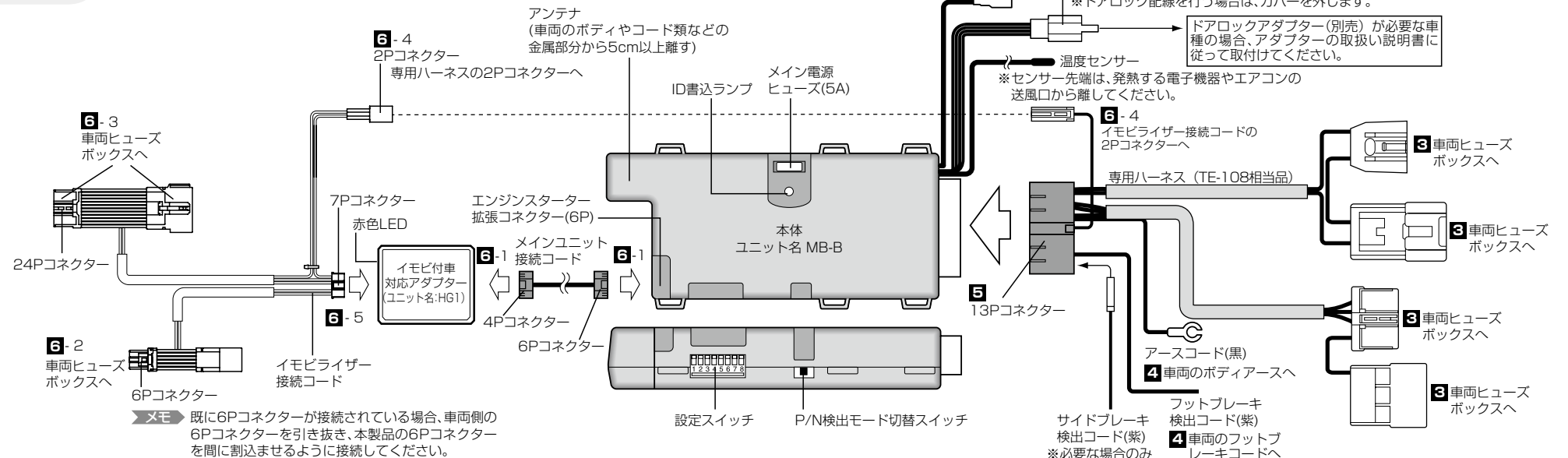
コード	車両への配線
アースコード(黒)	車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。
フットブレーキ検出コード(紫)	「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」、「離れたときに0V」になるコードへ接続します。

●メモ 詳しい配線場所はピットマニュアルを参照

●注意 アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。

●注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

### 5 13Pコネクタを本体にしっかり差し込みます。



●注意 配線には付属のワンタッチコネクタをご使用ください。付属のワンタッチコネクタは線径が細い配線にも対応しています。他のワンタッチコネクタを使用した場合、導通不良となることがあります。

13PコネクタへのL端子コードおよびサイドブレーキ検出コードの取付方法は裏面「ハーネスの各種コード差し込み位置」をご覧ください。

ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。(ドアロック配線を行う場合も裏面参照)

## 動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、ドアロック配線を行う場合は、**7**～**8**の作業を行ってください。

### 1 イモビ付車対応アダプター(HG1)の初期設定を行います。

1) すべての配線が完了した状態で、イモビ付車対応アダプターの赤色LEDが点灯していることを確認してください。

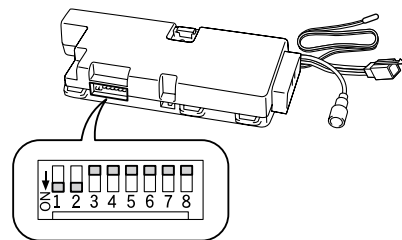
2) 車両本来の方法でエンジンを始動すると(※)、純正キーのイモビライザーデータを読み込みます。読み込みが完了するとイモビ付車対応アダプターの赤色LEDが3回点滅した後、消灯します。

※ 車両のエンジン始動方法については、車両の取扱説明書をご確認ください。

メモ 赤色LEDが消灯しない場合  
イモビ付車対応アダプターから、メインユニット接続コードを抜き、30秒経過後、再び接続し直し、車両本来の方法でエンジンを始動してください。  
それでも消灯しない場合は、イモビライザー接続コードのコネクタが正しく接続されているか確認してください。

3) 車両イグニッションをOFFにします。

### 2 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



設定スイッチ

スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出ししない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	未使用	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

は工場出荷時設定です。

メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

メモ 本製品の適合車種は、車両の仕様によりP/N検出が行えません。

### 3 本体の設定スイッチ2を「フット/PN切替」を「フット(上側)」にしてください。

### 4 動作を確認します。

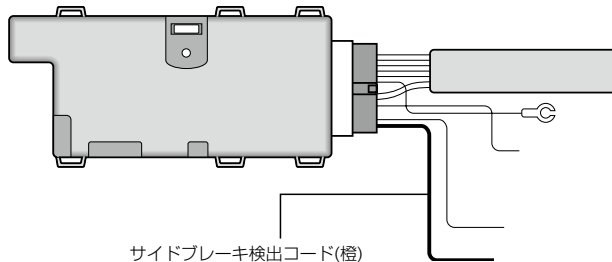
- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) イグニッションをOFFにし、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。  
(純正スマートキーを車から離れた場所へ移動させます。)
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。  
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

メモ リモコンに「Error02」が表示される場合、車両のフットブレーキが踏まれていないか確認してください。  
踏まれていないにもかかわらず、このエラーが出る場合は、フットブレーキ検出コードの配線が正しく配線されていません。

### 5 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

メモ 配線場所はビットマニュアル参照

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。



サイドブレーキ検出コード(橙)

### 6 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

### 7 ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの制御方式に応じて配線します。

メモ イモビ付車対応アダプターのドアロック機能に対応している車種の場合は、この作業は不要です。

注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または当社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

#### マイナス制御車 (TE202適合車種) の場合

1) 別売のドアロックコード (TE202) の緑コードと青コードを車両に取り付けます。

配線場所はビットマニュアル参照

2) ドアロックコードのコネクタをしっかりと本体のドアロックコネクタに差し込みます。

#### マイナス制御以外の車の場合

当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

注意 マイナス制御以外のアダプターを取り付ける場合は、取付方法が特殊です。必ずアダプター付属の取扱説明書とビットマニュアルを参照し、記載されている方法で配線してください。

#### 取り付け後の動作確認

車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

### 8 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

### 9 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

### 10 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

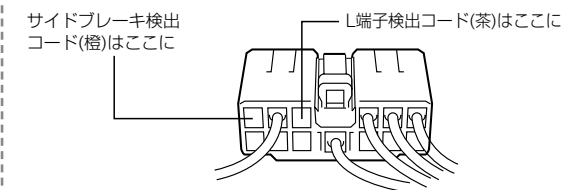
#### 参考

車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ビットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。  
ただし、ビットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

#### ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

#### 専用ハーネスの各種コード差し込み位置



コードの差し込みかたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなど先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ部を下にして指定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

取り付けに関するお問い合わせ先  
カーメイトサービスセンター  
Tel:(03)5926-1216(代表)  
Fax:(03)5926-1218